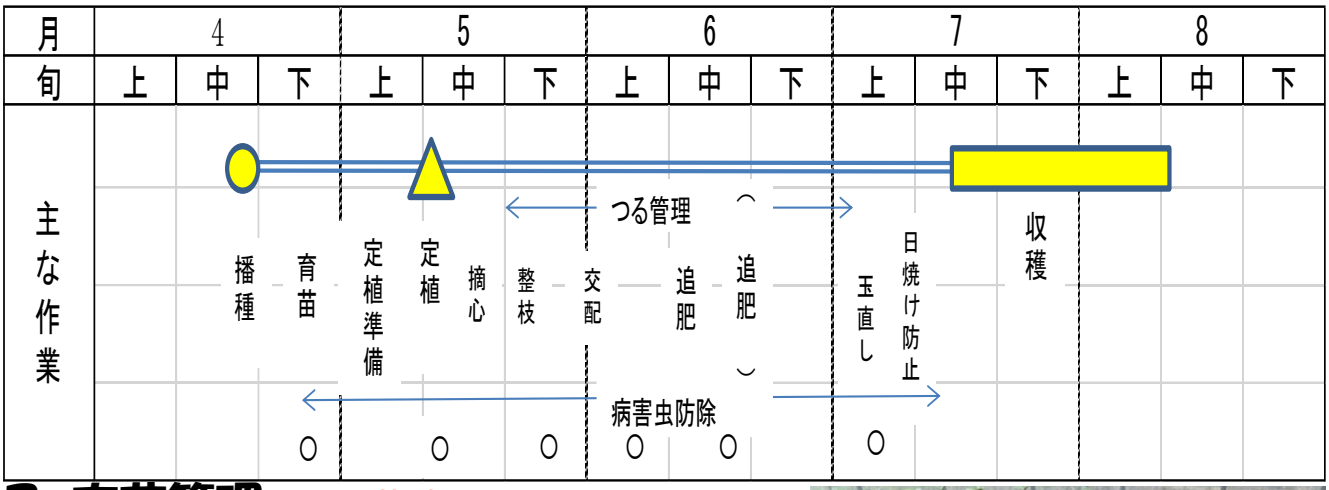
かぼちゃ栽培だより

令和６年３月 26 日
ＪＡ さがえ西村山
第1号

○気象台の２週間天気予報では、気温は例年より高くなります。しおれや葉焼けが発生すると、定植後の生育遅れにつながります。例年以上に、天気予報を確認し、ハウス内の温度は小まめな管理を行いましょう。
○例年より早くハウス内でアブラムシが確認されています。
育苗ハウス内の雑草は、害虫の発生源となるので、早めに除草しましょう。

1. 作型の確認



2. 育苗管理 ～発芽適温：25～30℃～

播種時の失敗事例
・地温が低い(20℃以下)⇒発芽遅れ、不揃い。
・地温が高い(35℃以上)⇒発芽不良。
・土壌の過湿・乾燥⇒発芽不良、種皮かぶり、不揃い。

①3.5 号ポットに直播きする。
②ポット 8 分目まで育苗用土を入れる。
③2 ㎝穴をあけて種を横向きに置く。
④覆土してかん水する。
⑤新聞紙、ポリで表面を覆い地温を 25℃～28℃！
⑥発芽したら遅れずに被覆を除去し、地温 22℃とする。
⑦本葉 2 枚目からは温度を日中 22℃、夜間 12℃！
⑧定植 7 日前頃から定植に向けて温度を低く管理する。
★かん水：地温が低い午前中、
夕方に鉢土表面が乾く程度とする！
★鉢ずらし：本葉が重なる前にポット間隔を広げる！

がっちり苗をつくることが最大のポイント！
育苗期の環境や苗質は、定植後の生育に大きく影響します。
JA さがえ西村山 営農指導課 (86-8184)